



なが さき し し まい
長崎獅子舞 【豊島区】長崎獅子連

三頭の獅子が、太鼓を打ち鳴らしながら舞う長崎獅子舞は、元禄年間(1688年～1703年)から伝承される豊島区の民俗芸能。旧長崎村の人々は村の鎮守である現在の長崎神社に集い、五穀豊穡、悪疫災厄退散、病氣平癒を祈って獅子舞を演じてきた。現在も、毎年5月に長崎神社の祭礼で演じられている。



ふ じ もと ばやし こぶき し し
富士元囃子・寿獅子 【豊島区】富士元囃子連中

明治30年代に豊島区高松の長崎富士塚の講元を中心として発生した。東京の祭囃子の特徴である五人囃子の形態をとり、のどかな笛の音と、締め太鼓の小気味よいテンポを聞かせる曲調が特徴。毎年長崎神社の秋の大祭では、地元要町高松の各町内を練り歩き、祭りを盛り上げる。



ぞう し が や き し も じん お え し き まん どう ねり く よう
雑司ヶ谷鬼子母神御会式万灯練供養

【豊島区】雑司ヶ谷鬼子母神御会式連合会

御会式とは、本来は日蓮宗の祖日蓮の供養のためにその命日に行われるものであるが、雑司ヶ谷では江戸時代から鬼子母神堂の祭として開催されてきた。団扇太鼓などをたたきながら纏や枝垂れ桜様の万灯とともに練り歩き、鬼子母神堂へ参詣するその様は幻想的な秋の風物詩として親しまれている。



ちち ぶ や たい ばやし
秩父屋台囃子 【埼玉県秩父市】高野右吉と秩父社中

毎年12月に行われる秩父夜祭で曳きまわされる山車の下層部で演奏される秩父屋台囃子。締太鼓と大太鼓を打ち分けて、山車を自在に操るように打ち鳴らす。重さ20トンもある屋台山車の曳き手の呼吸をそろえ、力づける大切な役目を担う。



かん こく でん どう がっ き ぶ よう
韓国伝統楽器と舞踊 東京韓国学校舞踊部

起源は土俗信仰の祭天儀式だったと推察され、朝鮮時代に、宮廷舞踊と民俗舞踊に大きく分類された。動中静・静中動の境地を持ち、天地人、陰陽五行の原理に基づき、太極のように無限の動きを美しく表現すると同時に迫力のある所作が伴い、「興」が溢れる踊りである。1920年代以降、「新舞踊」と呼ばれる韓国創作舞踊が現れ始めた。

◎観覧申込方法

観覧無料・要入場券(入場フロア指定・自由席)

事前申込

WEB申込フォームに入力して送信してください。

<https://www.toshima-mirai.or.jp>

1回の送信につき、1名様でお申し込みください。

お申込み頂いた方へ10月1日(火)より

先着順に入場券を発送します。

申込受付締め切り:10月27日(日) 23:59まで。



WEB申込フォーム

※ただし定員に達し次第締め切り。

※申込の際に提供された個人情報、は、本事業のみに利用し、その他の目的で利用することはありません。

当日券

公演当日12:30から劇場受付で当日券を配布します。

当日券は2階席もしくは3階席となります。 ※定員に達し次第、配布終了。

第31回
未来に受け継ぐ
民俗芸能
in
わたしたちの
としま
の
芸
能



東京建物 **Brillia HALL**

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-19-1 (豊島区立芸術文化劇場)

◎「池袋駅」東口より徒歩4分

【お問合せ】公益財団法人としま未来文化財団 事業企画グループ TEL.03-3590-7118(平日10:00～17:00)

【主催】豊島区/公益財団法人としま未来文化財団/東アジア文化都市2019豊島実行委員会 【協力】一般社団法人文化財共働 【助成】一般財団法人地域創造



公益財団法人
としま未来文化財団

